出前講座【親子ふれあい教室（大戸瀬地区）】開催！

深浦町公民館では家庭教育事業の一環として「親子ふれあい教室」を９月27日（日）深浦町農村環境改善センターで開催し、幼児を持つ親子や小・中学生スタッフ等総勢１２０人が参加し会場は大賑わいでした。

この事業は、誰でも気軽に参加でき、親子のふれあいはもちろんのこと親同士や地域のつながりを持つことによって、親としての学びや子育ての支え合いが生まれることを目的としています。また、小・中学生がボランティアスタッフとして地域社会や他者に貢献する活動を行うことにより、積極性や思いやりの心を養うことも目的としています。

今回はスタッフのまかない作りに「地元のかっちゃたち」が協力してくれました。

ふれあい教室の内容は、お菓子作り・絵本の読み聞かせ・ほほえみ・縁日・元気キッズの５つのコーナーで、ボランティアスタッフと一緒に参加した親子は楽しんでいました。


お豆腐チュロス作りに挑戦


絵本の読み聞かせ（子ども司書）


プラ板キーホルダーづくり

参加者の声

・子どものほかに親同士も交流できて楽しかったです。
・お菓子づくりを経験してから家でもお手伝いするようになりました（３回目の参加）。
・どのブースも楽しそうで、参加している皆さんも笑顔だったのが印象的でした。
・ボランティアの子どもたちも元気よく「これやる？」など話かけてくれて助かりました。
・違う園の子どもたちと交流できて楽しかった。次回もあったら参加します！　など


縁日（ロケット的あて）


縁日（ヨーヨー釣り）


元気キッズ（楽しい遊具がいっぱい）


大戸瀬おがずクラブも協力

防災コーナー

住宅火災警報器取り付けていますか？

柳田地区、関地区の一人暮らし高齢者及び高齢者のみの約30世帯を消防署員が訪問し、住宅火災警報器の取り付けの状況を確認しました。

住宅火災警報器は、火災の発生時に煙や熱を自動で感知し、音や音声でいち早く住人に知らせるための装置です。消防法において全ての住宅への設置が義務づけられており、寝室と寝室がある階の階段上部に設置することが必要です。

冬が近づき、ストーブなどの暖房器具を使用する時期になります。今一度ご家庭の警報器の確認や火災予防へのご協力をよろしくお願いします。





住宅火災警報器について説明をする消防署員

■お問い合わせ　総務課消防防災係　　TEL 0173-74-2112

コミュニティ（宝くじ）助成事業助成金で備品を整備しました。

この事業は、（一財）自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、地域が行うコミュニティ活動の更なる推進を図るための備品等を整備するもので、これにより地域社会の健全な発展と住民福祉の向上が期待されます。

このほど、令和８年度コミュニティ助成事業に採択された沢辺自治会が、地域の環境美化や生活道路等の清掃活動で使用する備品を宝くじの助成金で整備しました。

○沢辺自治会

・自走式草刈り機：１台　・背負い式草刈り機：２台　・除雪機：１台
・アルミブリッジ：１組　・保管庫：１基







